

洗足学園音楽大学管弦楽団

第80回定期演奏会

2021年7月8日（木）

18:00 開演 （17:30 開場）

洗足学園前田ホール

指揮； 現田 茂夫

演奏； 洗足学園音楽大学管弦楽団

主催；洗足学園音楽大学・大学院

Greeting

本日は洗足学園音楽大学の定期演奏会に御来場いただきましてありがとうございます。

昨年の今頃は対面での合奏ができない悔しい日々でしたが、今年度は最初の授業から合奏を始められ、学生たちの活気のある様子を心から嬉しく思いました。昨年同様、山田武彦先生によるアナリーゼ授業のおかげで様々な方向から作品と作曲家を知ることができ、貴重な時間をいただきました。全員で同じ知識を共有し方向性を確認できたことにより、回を重ねるごとにオーケストラの音に深みが増していき、毎週聴いているはずなのにどんどん成長する様子に一度も飽きることなく感動するほどの音になったと思います。6月末より現田茂夫先生が来校されての授業が始まり、本番へ向けての最終段階に入りました。学生たちの晴れの舞台を御来場いただきました皆様と共に祝ってあげたいと思います。

最後までお楽しみいただけましたら幸いです。

企画運営責任者 松本健司

Program

E.フンパーディンク

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より前奏曲

Engelbert Humperdinck (1854-1921) "Hänsel und Gretel" Vorspiel

B.スメタナ

連作交響詩「我が祖国」より、1.高い城、2.モルダウ

Bedřich Smetana (1824-1884) *Má vlast* - 1. *Vyšehrad* 2. *Ullava*

～～休憩～～

J.シベリウス 交響曲第2番 二長調 作品43

Jean Sibelius (1865-1957) *Symphony No.2 D-dur op.43*

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

E.フンパーディンク 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より前奏曲

Engelbert Humperdinck (1854-1921) "Hänsel und Gretel" Vorspiel

ヘンゼルとグレーテルは、ドイツの作曲家エンゲルベルト・フンパーディンク(1854~1921年)の作曲した全3幕のオペラである。

フンパーディンクはこの他にもいくつかのメルヘン・オペラを作曲し、その他にもワーグナーの補佐や作曲の教授として活躍しており、優秀な人物であった事が伺える。

本作品は、1893年12月23日にリヒャルト・シュトラウスの指揮により初演された。

リヒャルト・シュトラウスが頭角を表す以前に作られたドイツ・オペラの中で代表的な作品と言われており、今なお多くの機会演奏されるフンパーディンクの代表作である。

この曲は、同名のグリム童話を元に作られており、その内容は子どもでも楽しめるものとなっている。

——ヘンゼルとグレーテルという2人の子供が魔女の住む森へいちご狩りに行った。

2人は迷って帰れなくなり、その内に日が暮れる。そして眠りの精に眠らされてしまうが

露の精のおかげで目を覚ますと、そこにお菓子の家が現れた。中から出てきた恐ろしい魔女に2人は捕まって危うく食べられてしまいそうになるが、機転を利かせ、逆に退治する——。

そういった物語を思い浮かべつつ聴くと、より面白い景色が見えてくるかもしれない。

B.スメタナ 連作交響詩「我が祖国」より、1.高い城、2.モルダウ

Bedřich Smetana (1824-1884) *Má vlast* - 1. *Vyšehrad* 2. *Ohlava*

ベドルジハ・スメタナ (1824~1884) はチェコ (当時オーストリア=ハンガリー帝国) を代表する作曲家である。スメタナは当時、ボヘミアであったチェコスロバキアのオーストリア帝国からの独立を強く望んでいた人物の1人だった。

そんな時代に書かれたのが全6曲からなる、この連作交響詩「我が祖国」である。今回は内2曲「ヴィシェフラド(高い城)」、「モルダウ」を抜粋して演奏する。

1. ヴィシェフラド(高い城)

ヴィシェフラドとは城跡を意味するチェコ語。冒頭ハープ2台によるカデンツァは吟遊詩人(自作の詩を旅しながら歌った人)の語りを模倣したもので、かつて繁栄していた祖国を思い返す様が描かれる。この主題は異なる楽器で何度も登場するテーマである。中間部、アレグロは争いが起きたような、弦楽器を始めとする少し不安定な下降音形が始まる。それは次第に金管楽器の華やかなファンファーレに繋がり、勝利を想像出来るような旋律へと受け継がれる。しかし瞬く間に中間部の下降音形が引用され、崩壊していく。再びヴィシェフラドの主題で終曲する。

2. モルダウ

モルダウ(ヴァルタヴァ)はチェコの川の名前で、まるで上流から下流までの道のりを表している様な曲である。フルートのみの旋律は細い川を表し、ハープとヴァイオリンのピチカートの水の跳ねる音で始まる。次第に楽器も増え、段々と大きな川になっていき、有名なモルダウのテーマがヴァイオリンとオーボエ、ファゴットによって歌われる。細やかな上下の音形は波を表していると考えられる。その後、4本のホルンによる勇ましい森の狩猟が始まる。狩りが落ち着き、ポルカのリズムで村の婚礼を見ながら川は流れていく。これは非常に歓喜的な旋律だが次第に静かになり、再びモルダウの川は流れ出す。中間部、月光が水面に映る様な美しいヴァイオリンの旋律が始まる。その中でも重々しくなる金管楽器はやはりかつての祖国を模倣しているものだと思われる。その後急流に到達し、オーケストラ全体で鳴らされる堂々としたモルダウの主題から、段々と人数が減り、また静まって曲は終わる。

J.シベリウス 交響曲第2番 二長調 作品43

Jean Sibelius (1865-1957) Symphony No.2 D-dur op.43

シベリウスがイタリア滞在中に作曲され、母国に戻った1901年に完成し初演は1902年に作曲者自身の指揮において行われた。

旅先であったイタリアの小都市ラパッコについて「魔法がかかった国」と表現していたそうだ。北欧の厳しい寒さの環境しか知らなかった彼にとって、正反対の南国的な環境は少なからず作品にも影響を与えているであろう。

この交響曲第2番について「我が魂の告白」と述べていたことから、理想や夢に描いた事、そして当時ロシアの支配下で圧政に苦しんでいたフィンランド人としての誇りや、形を変えて現れては消える様々な想いを反映させているのではないかと感じる事ができる。

1楽章 Allegretto 二長調 4/6拍子 ソナタ形式

フィンランドの暖かい風景を彷彿とさせるような第1主題を木管楽器によって奏される。弦楽器による伴奏系の形は第2主題でも顔を見せる。

2楽章 Tempo andante, ma rubato 二短調 4/4拍子

シベリウスが度々使用したABABの四部形式で書かれている。ファゴットにより提示される第1主題はドン・ジョヴァンニの伝説から着想を得た。弦楽器による安らかな美しい第2主題はフィレンツェでインスピレーションを得たキリストのイメージと言われている。

3楽章 Vivacissimo - attacca 変ロ長調 6/8拍子

2楽章同様の四部形式で書かれており、音楽が次第に盛り上がり頂点となったところで休むことなく4楽章へ突入する。

4楽章 Finale.Allegro moderato 二長調 3/2拍子 ソナタ形式

弦楽器による単純明快かつ力強いモチーフに波打つようなバス、それに応えるかのようなトランペットのファンファーレによって華やかな第1主題が提示される。第2主題は、静けさの中、木管楽器の誘いによって導かれ壮大なクライマックスを迎える。第1主題の動機が管楽器によって荘厳に奏でられ曲を終える。

Profile

指揮；現田 茂夫

東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。1986年二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、「こうもり」等で二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積む。1987年、新星日本交響楽団指揮者に就任。1988年来日中のドレスデン・フィルに客演。1990年新星日響とヨーロツパ演奏旅行。同年ウィーン国立歌劇場に国費留学。1991年スロヴァキア・フィルに客演。1992年プラハ国立歌劇場日本公演の指揮者として客演。同年プラハ交響楽団の定期公演に初登場し、翌年“プラハの春”での“佐藤しのぶリサイタル”は、センセーショナルにヨーロツパで放送された。1996年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年4月より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し高評を得ている。また、世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。オペラ指揮者としても経験豊かで、関西二期会、東京二期会を中心に数多くの公演を行なっている。“佐藤しのぶドラマチック・リサイタル”(全国ツアー)、“夕鶴”のカザフスタン/ウズベキスタン/東京公演、“天守物語”等、日本のオペラも積極的に行なっている。2004年秋にはブラチスラヴァでスロヴァキア国立歌劇場の「椿姫」を指揮し、さらに同日本公演でも好評を博した。2002年から15年は錦織健プロデュースオペラの音楽監督も務め全国公演。2011年はアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で「椿姫」を公演。14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出“夕鶴”の全国公演も行い高評を得、16年に再演を行った。アントニオ・ペドロッチェ国際指揮者コンクール(イタリア/トレント)の審査員や、NHKの「FMシンフォニー・コンサート」のパーソナリティを3年間務めるなど、バラエティに富んだ活動を行なっている。



©Koichi Miura

Member's

洗足学園音楽大学管弦楽団

Concertmaster 筱崎 愛* 松本 志絃音 頼近 友莉奈

Violin	安部 誼美	池原 志穂	榎本 安杏	木村 菜穂	佐藤 クレメンツ アリス	しの	山本 里真	
	井上 海燦	宇津木 遥花	宇根 由利子	長沢 明日香	早川 萌音★	久本 奈海	米倉 海陽	椛田 翔允
	勝部 小夏	小林 真子	齋藤 亜花羽	佐々木 郁子	島村 佳奈	鈴木 光菜	鴫田 翔	松村 歩美
	三谷 月菜	宮崎 莉子	新山 開♪					
Viola	山下 智史	榎本 知香	川勝 颯斗	宮島 麻歩★*	有山 志音♪	栗國 朝陽♪	高橋 楓♪	堀 那苗♪
	加藤 星南♪							
Cello	大友 美侑♪	加賀谷 ひなた♪	鈴木 黎子♪	原 美月♪	廣田 遥♪	溝端 楓♪	佐伯 江梨花♪	
	鈴木 佳都紗♪							
Contrabass	嶋野 晴斗*	伊藤 令華	榎 さわ	小泉 聡一朗	遠藤 可奈子♪	安田 廉♪		
Flute	足立 柚寿*	川野 真奈	小林 千夏	清水 涼花	福井 麻菜			
Oboe	佐藤 千尋*	渡邊 悠乃	宮本 菜摘					
Clarinet	石橋 優安	加藤 明日香★	小泉 和世*	齋藤 遥	齋藤 要助			
Fagotto	福原 佑紀	前澤 美里*	塩谷 花笑	上治 唯奏	平川 眞鈴			
Horn	小秋元 歩	後藤 陸歩*	末永 廉	佐藤 俊輝	西川 宗辰	山口 亜希菜		
Trumpet	神山 巧弥	清宮 衛介★	澁江 ワタル	居石 まどか	中山 亜実	水谷 樹里	森 猛流*	
	山下 莉奈							
Trombone	岩井 心	櫻井 美湖	津吹 亮汰*	米村 麻優	小森 豊生	篠塚 裕太	神野 葵	
Tuba	石崎 義基*	石田 健悟	吉田 怜生					
Percussion	近藤 花音★*	高橋 芽生	福光 真由	森 奈那子	小野寺 俊介	林 拓海	福本 奏音	
Harp	大隅 レオナ♪	藤木 沙織♪						

★...インスペクター *...パートリーダー ♪...演奏補助要員

企画運営責任者 松本 健司

指導教員 吉田 行地 近藤 薫 鈴木 弘一 中 一乃 長原 幸太 沼田 園子 渡邊 ゆづき 安藤 裕子 井野邊 大輔
大野 かおる 古川原 裕仁 荒 庸子 羽川 真介 藤村 俊介 今野 京 矢内 陽子 齋藤 和志 森 圭吾
吉岡 アカリ 佐藤 亮一 田淵 哲也 辻 功 吉村 結実 伊藤 寛隆 鎌田 浩志 石井 淳 鈴木 一志
吉田 將 勝俣 泰 久永 重明 神代 修 林 辰則 古田 賢司 古田 俊博 池上 亘 小田 桐 寛之
門脇 賀智志 次田 心平 渡邊 功 井手上 達 幸西 秀彦 清水 太 野本 洋介 山田 徹 山田 武彦